

GREEN WISE

# 茎

KUKIDO

# 道

出版記念

展

2020  
12/12 SAT  
▼  
2021  
1/11 MON

会場：ワタリウム美術館 B1  
ミュージアム・ショップ オン・サンデーズ  
営業時間：11時～20時  
(毎週水曜日は21時まで延長)  
※12/31～1/4は休業  
主催：株式会社グリーン・ワイズ  
お問い合わせ：042-338-0002  
pr-center@greenwise.co.jp  
<https://www.greenwise.co.jp>

花  
||  
自然

茎道ワークショップ  
開催予定



MUSEUM SHOP  
ON SUNDAYS

なぜ茎道なのか…

子どもの頃、家業である緑化事業の会社で働く人々が農薬散布後に、鼻血を出して目を真っ赤に充血させている姿を良く見た。

十数年が経ち、家業に参加して生産者を廻るようになって、子ども時代に目にしていた光景が彼らの身にも起きているのを目の当たりにした。

そして現在、世界に目を向けると、花き産業の盛んな諸外国や

日本において農薬被害や環境汚染が発生している。また、これを扱う販売事業者への高レベルな残留農薬の曝露が報告されている。(Getu 2009, Toumi et al. 2016)

なぜ、農薬や肥料が多量に使われるのか？

それは、生産者が育てた花や緑に対しては、**傷一つ無い完璧な美しさ**を**私たち消費者が求めているから**である。(Nagami et al. 2015)

それ故に、農薬や肥料、化石燃料を使い温室栽培された植物は、工業的に同一形状に真っ直ぐ仕立てられ一つ一つを見分けることが困難だ。

一方、自然の中で雨風に打たれて生長した花や木々に近づき観察すると、蕾や芽吹きはじめから萎れたものまでが一群の中で存在し、必ずどこかに虫食いや傷みがあることに気づくはずだ。

青空の下で太陽の動きに合わせて伸びていった植物の特徴は、茎や枝に最も顕れる。その茎や枝を脚のように広げて立てると、自然の力をありのままに受けとめた一つ一つの個性が際立つ。

それが茎道である。

(茎道創始者 田丸雄一)

# 花



# 自然

詳細はこちらへ



GREEN WISE 「茎道」出版記念

# 茎道展

2020 12/12 SAT ▶ 2021 1/11 MON

会場：ワタリウム美術館 B1 ミュージアム・ショップ オン・サンデーズ  
営業時間：11時～20時(毎週水曜日は21時まで延長) ※12/31～1/4は休業  
主催：株式会社グリーン・ワイズ  
お問い合わせ：042-338-0002  
pr-center@greenwise.co.jp  
<https://www.greenwise.co.jp>

MUSEUM SHOP  
ON SUNDAYS